

わたしの未来はわたしが創る ありて

こんにちは。
わたしが“ありて”を
ご案内します。

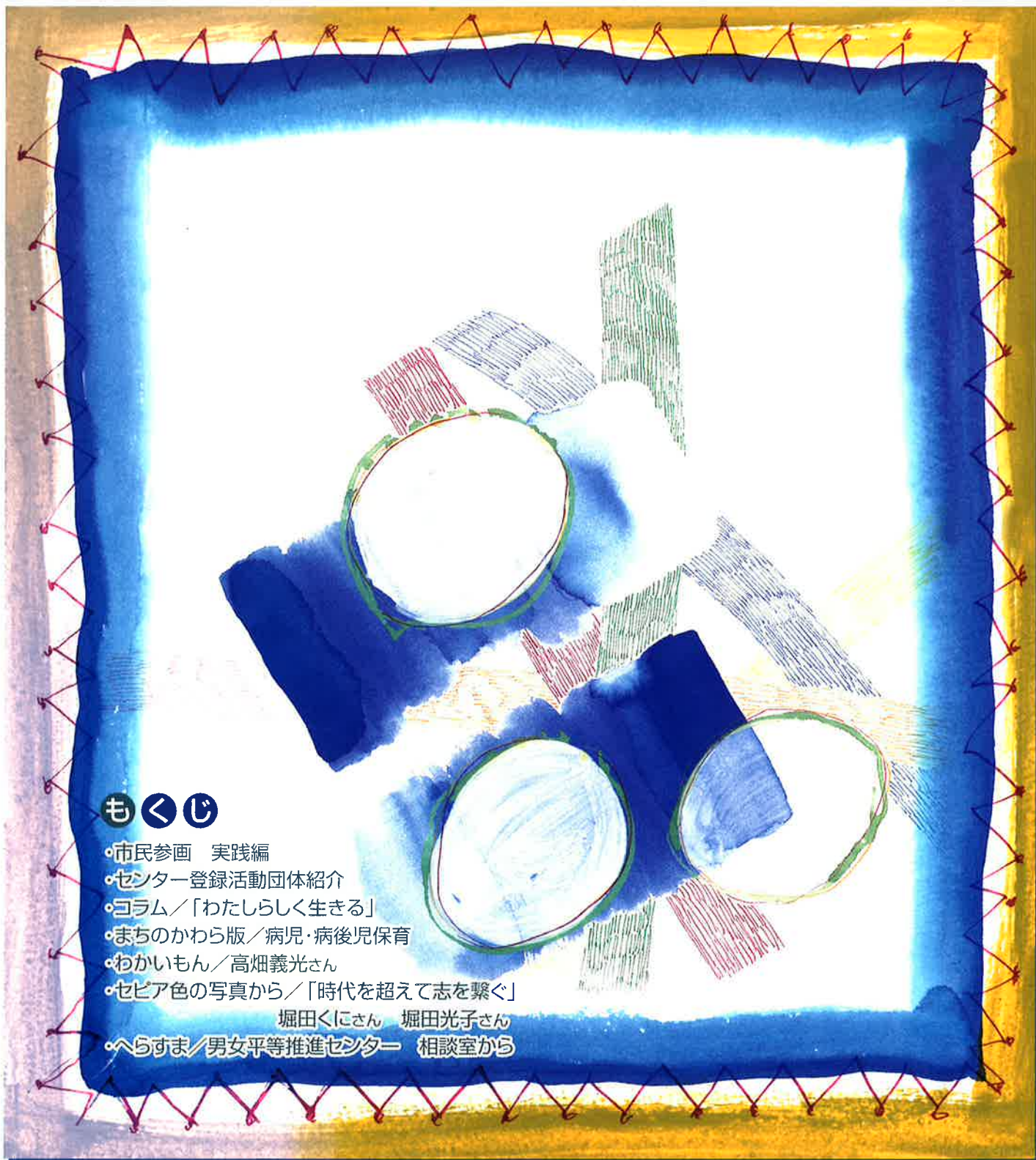
「ありて」は
自分の力で
問題を解決していく
イギリスの童話
「ありて姫の冒険」の
主人公の名前です。



17 号 高岡市男女平等推進プラン情報誌

2005年3月

◆特集 「結婚」岐路に立ったときのあなたの選択は



もくじ

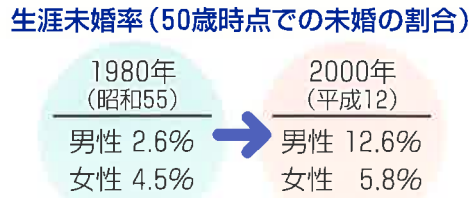
- 市民参画 実践編
- センター登録活動団体紹介
- コラム/「わたしらしく生きる」
- まちのかわら版/病児・病後児保育
- わかいもん/高畑義光さん
- セピア色の写真から/「時代を超えて志を繋ぐ」
堀田くにさん 堀田光子さん
- へらすま/男女平等推進センター 相談室から

結婚 岐路に立ったときのあなたの選択は？

結婚... 最近、メディアその他で、いろいろな形で採り上げられています。多様な生き方が可能になり、結婚を必然ではなく、人生の選択肢のひとつとしてとらえている人も増えているようです。2004年度に初めて発表された、内閣府「少子化社会白書」でも、晩婚化・未婚化の進展をあげ、「国民が全て結婚するという『皆婚社会』が崩れつつある」と指摘されています。



厚生労働省「人口動態統計」より



国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」より

しかし、未婚者の生涯の結婚意思について5年ごとに調査している「出生動向基本調査」(国立社会保障・人口問題研究所)によると、未婚者の約9割は「いずれ結婚するつもり」と回答しており、「一生結婚するつもりはない」という人の割合は、男性5.4%・女性5.0%にすぎません。

独身にとどまっている理由



国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」より

結婚する意思の割合が高いにも関わらず、未婚の人が多い理由は何でしょうか。

25~34歳の男女に独身にとどまっている理由を尋ねた結果をみると、「適当な相手にめぐり会わない」をあげた人が最も多かった。次いで、「必要性を感じない」「自由や気楽さを失いたくない」の順となっています。総合的にみると、「結婚できない理由」より「結婚しない理由」をあげた人の割合が多くなっています。

「理想の相手とめぐり会うまで」結婚を先延ばししたり、結婚資金が足りなかったり、独身生活の利点を楽しんでいるうちに、「必ずしも結婚しなくてもよい」という意識が強くなっていくのも「皆婚社会」が崩れつつある要因の一つなのではないでしょうか。

聴かせてください

“あなたの「これから」をどう生きる？”

“ありて”では、高岡市内に在住または勤務する独身男女に「結婚」について答えていただきました。

19～24歳:20名、25歳以上:34名の方にご回答いただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



回答の中で、気になった言葉「キーワード」を抜き出しました。回答数が多かったものは、マルが大きくなっています。

結婚したら と考えた時の キーワード

今の自分

社会的責任
自分の夢目標
理想・幻想
バーチャル

「結婚」しようかな？

世間体
一人前
精神的安定
いやし
家事・育児
経済的安定
子ども
同居問題
支えあう頼れる
安心感

「仕事」は続ける？

自由
(お金・時間・行動)

子どもを産む？

高齡出産

親の介護はどうする？

不安感

自分の老後

自立

一人で生きていく と考えた時の キーワード

- Q あなたはいずれ結婚したいと思いますか？
 A 結婚したい…36名 わからない…10名
 結婚したくない…4名 無回答…2名
- Q 結婚のメリット・デメリットは？
 A (多数回答)
 メリット…精神的・経済的安定性が得られる
 デメリット…自由がなくなる(行動・生き方・金銭的)

結果は、「結婚したい」と思っている割合が高いなど、おおむね「出生動向基本調査」と同じ結果でした。今回、特徴的だったのは、女性が結婚相手に望むことで、「経済的安定」が特出していたことでした。



かつて(バブル崩壊前まで)、「夫は外で働き、妻は家を守る」のが“当たり前”とされた時代がありました。しかし、今「結婚」を考えると、それぞれの「生き方」を理解し合い、協力し合えるパートナーを求め、仕事と家庭の両立を目指している人が増えているようです。

夫の収入だけで生計を立てるための前提だった「終身雇用制」「年功序列賃金」が崩れ、また女性の就労に対する意識の変化も相まって、働き続ける(または職場復帰を求める)女性が増えている現状からは、当然の結果と言えます。

女性が働き続けることを支援するための様々な取

り組みも始まっていますが、今あるシステムを最大限に活かしながら、不備なところは見直していくことも必要でしょう。

「結婚」に限らず、女性に限らず、人生の大きな岐路に立ったとき、「自分はどう生きたら良いのか・生きたいのか」誰もが考えます。一人ひとりが「働き方」も含めて問い直し、悩み、「自分らしい生き方」を模索していくことが大切なのではないでしょうか。

そんな、自立した一人ひとりが繋がった先に「誰もが生きやすい男女平等社会」が見えてくるのかもしれない。

あなたもできる 市民参画 ～実践編～

「高岡女性の会連絡会」が 年表パネル寄贈

高岡市男女平等推進センターのサロン壁面に「男女平等社会に向けた動きとその背景―高岡市男女平等推進センターができるまで―」という大パネルがあります。

1945年から2004年までの「市民の動き」「高岡市の動き」「世界・国・県の動き」をまとめた近現代年表です。

これは昨年11月に、今年創立15周年を迎える市民団体「高岡女性の会連絡会」(会長・巴陵嘉子さん)から高岡市に寄贈されたものです。

知る・学ぶ・行動する

当初から「女性センター」を求めてきた「高岡女性の会連絡会」は、「知る・学ぶ・行動する」をキーワードに、男女平等社会実現のために活動している、17の団体・グループのネットワークです。

毎年テーマを決めた「ゼミナール」や「女性とまちづくり地域会議」等を開催したり、先進地視察に出かけたりしています。また折に触れ、行政に対して女性施策に関する様々な提言や要望をしています。

ます。その活動内容は会報や報告書(センターにあります)で知ることがができます。



多くの市民団体・ グループが参画

市民も参画しての「高岡市女性プラン」策定(1993年)、同じく「高岡市男女平等推進条例」施行(2004年)。そして、それらの推進拠点と位置付けられた念願のセンターができ、そのオープンングイベント・ワークショップで「高岡女性の会連絡会」は、「参画」をキーワードに「坂東真理子さん(元内閣府男女共同参画局長)と県内女性団体との交流会」を開催しました。

最近よく言われる「市民参画」

を「共通の目的」に向かって市民が主体的に活動に関わっていくものとすれば、高岡では多くの市民団体・グループがずっと以前からやってきたことです。

今年から高岡市では市民参画をテーマに「NPO おしやべりカフェ」や「協働はじめの一步会議」を始めました。より豊かな地域社会を築くために、行政と市民・NPO・企業が、福祉・環境・地域づくり等の社会的課題や市民ニーズについて、一緒に考えていく場にし、これまでの市民活動に協働し、NPOという視点を提案していく取り組みです。

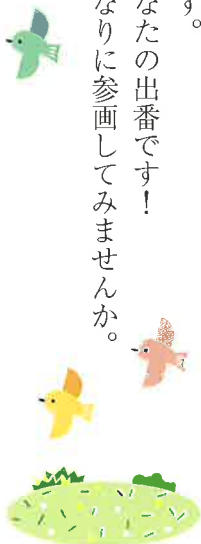
センターができて一年。様々な団体・グループが、それぞれのアプローチで「男女平等の社会」「元氣な高岡」を目ざして、センターを拠点に楽しく活動しています。

次はあなたの出番です！
あなたなりに参画してみませんか。

年表パネルの最初1946年「戦後第一回の衆議院議員総選挙で女性候補者39人が初当選」。その翌年1947年には「日本国憲法」が施行され、民法によって「家制度」が廃止されました。初の女性富山県議会議員も誕生しています。(現在、女性の県議会議員は3人、

高岡市議会議員は2人です。)

戦後60年間の年表パネルからは、男女平等社会に向けた「世界・国・県の動き」「市民の動き」「市の動き」が、深く関係しあっていることが解ります。



脳外傷友の会 「高志」富山

スポーツ・交通事故等での、脳外傷による後遺症を高次脳機能障害といいます。高次脳機能障害者の苦しみ、家族の悩み等を社会や行政へ訴え続けて5年が経ちました。見えない障害といわれ、理解されにくい高次脳機能障害者と家族が励まし合い、正しい知識を持ち、お互いの体験等から、よりよい進路を探していく事を目的として活動を行っています。

ベアテさんの会

1999年に、ベアテ・シロタ・ゴードンさん(憲法24条を作った人)の講演会を開催した実行委員の有志で、会をつくりました。「富山弁で憲法9条」を作成し、いろいろな集会で朗読するなど、「日本国憲法」を生活にいかすための活動をしています。

ベアテさんについては、著書「1945年のクリスマス」やビデオ「私は憲法に男女平等を書いた」が、センターにあります。

子育て支援を考える 「涼悠会」

「子育て」をしながら自己実現を願っている多くの女性のために1999年に発足しました。この「子育て」支援を、男女平等の視点を通して調査・研究し、それを発信しています。アンケート調査実施とその報告書作成をはじめ、子育て支援マップ制作・webによる発信・年1回のワークショップ開催などの活動を展開中です。

<http://www.senmaiike.net/ryoyukai/>

センター登録 活動団体紹介

センターを拠点として男女平等・共同参画の推進活動をしているグループを紹介します。

町なみを考える藤グループ

金屋緑地公園の美化運動がきっかけで「高岡 鑄物発祥の地」金屋町在住の女性たちで結成しました。金屋町を案内する観光ボランティアや郷土を学ぶ講演会を開催しています。また「さまのこフェスタin金屋町」は地域づくりのアイデアとして2001年から開催しています。「自分の町に誇りを持つ子どもに育ててほしい」と願い活動しています。

<http://www.senmaiike.net/kanaya/fuji-g/>

まちの福祉しらべ隊・高岡

1998年1月、「誰もが安心して老いることができる町に住みたい」の願いを込め発足しました。2002年6月、「富山県の特別養護老人ホーム・県内46施設訪問調査の結果と研究報告書」を発行し情報を提供、2004年末「介護保険制度」見直しの意見をまとめ、国に提出しました。「豊かな介護と地域福祉」をめざしています。

2005年
2月末現在の登録

39団体

上記の団体・グループ以外もセンターのホームページで紹介しています。
あなたのグループも登録しませんか？

センター登録及び登録団体へのお問い合わせは… ☎0766-20-1810



■富山弁講座

旅の方…一般的には「旅の人」という(「方」で敬語表現になる)。「地元の人」の反対語で、「よそからきた人」という意味で使われる。地元での生活が長くても「そ」を生まれていない人は「旅の人」と呼ばれることも多い。

☞息子は旅で働いております。
…息子は都会など、県外で働いていますの意。

「私らしく生きる」

(A・A)

コラム

「旅の方」と言われてから、もうすでに十五年の月日が経った。「旅の方」とはいつか何のことだろうと、高岡に住むまで理解できなかった。

嫁は姑に仕えるもの・従うもの。そんな世の中がまだあったんだ。嫁は世話をしたたり前、それをしなければ叱責される。感謝の気持ちはどこにあるのだろう。日々そんな葛藤の繰り返しだった。

子どもの成長とともに自分の時間でもき、心のゆとりもできた今、私だけが家の中を走り回るのをやめ、はっきりと相手に注文を出し、家庭の事を知ってもらおうと少しの抵抗を試みている。

男女平等は、社会にでて仕事をバリバリすることと思われがちだが、私にとっては家庭の中で「お互いがお互いのよい所、弱い所を理解しあい、協力していくこと」そんなベストパートナーになることだと思っている。大人になってしまった人は手ごわいけれど、子どもたちにはそんな風になってほしいと思う。

今でも私がここにいるのは、私の周りにいた友人、肉親がいやというほど愚痴を聞き、慰め、癒してくれたからだと思う。その人たちに感謝しながら、私らしく生きていくことを探し続けたい。

まじっかわら版

市内で見つけた
ホットな情報を
発信します。

ニーズ高まる病児・病後児保育

富山県内では病児・病後児保育のニーズが高まっています。高岡市男女平等推進センターが「少子化」をテーマに改善策を募集した「男女平等EXPO高岡」でも、要望が多数寄せられました。

県内では一人当たりの労働時間が長く、共働きの割合も58.3%(2000年10月)と全国平均の44.9%を上回っています。雇用形態の変化とともに、厳しい労働環境になってきており、有給休暇の取得率も低くなっています。

子どもの急な発熱やケガ、しかし「何日も会社を休めない」。そんな時に子どもを祖父母に預ける、または近所の人に頼む。しかしそれでもできずに困っている人もいます。更に周りからは「子どもの体調が悪いのに会社を休まないなんて、子どもがかわいそう」と言われるなど、仕事と子育ての両立での悩みは尽きません。パートナーの協力はもちろん、さまざまなサポート体制がますます求められています。

その一つに、2005年4月から小学校入学前の子どもを養育する労働者に対して、雇用者は年5日まで看護のための休暇を取得できる「子の看護休暇制度」の導入が義務となります。また、200

5年度中には、高岡市でも「ファミリー・サポート・センター」を立ち上げる予定です。

現在、高岡市では病気の回復期に子どもを一時的に預かる「病後児保育」が実施されています。

この保育を受けるためには医師の診断が必要です。病気の回復期にあつて、まだ集団保育は難しいものの、勤務の都合などで保護者が家庭で育児ができない場合に限られます。

そして他にもこのようなサポートをしてくれる場所が2ヶ所あります。託児室「くれよん」とデイケアハウス「手をつなごう」です。送迎など利用者のニーズにそったサービスを行っています。詳細は左記まで直接お問い合わせください。

病後児保育施設

●高岡保育園 病後児保育室「うさぎ」

高岡市南幸町2-1 ☎22-2748
保育所へ通所中の児童等対象

病児(インフルエンザ・水痘など流行性疾患をのぞく)の託児相談施設

●デイケアハウス「手をつなごう」

高岡市本丸町13-18 ☎21-0976
<http://www1.coralnet.or.jp/hand/shisetsu.htm>
0歳児～高齢者までの富士型デイサービス

●託児室「くれよん」

高岡市角751-3 ☎26-3325
生後3ヶ月以上の子ども対象

高岡市の育児情報サイト「こそだてNAVI」でも、さまざまな育児情報が発信されています。
<http://www.senmaike.net/color/kosodate.html>

きときと発信 わかもん

市内に勤務する、元気な「いまどきのわかもん」からの発信です



前向きに、
そして楽しく!

高畑 義光 (「富山夢工房」代表)

「人それぞれの思いをカタチに」と、様々な活動をしている高畑さん。手品師としても活躍中

が、年齢や性別、職業を問わずにたくさんいるんですね。この活動を通じて知り合った仲間達と意見を出しあって、企画・取材・編集などを行いました。「いいものをつくりたい!」という皆の思いが強く、時には意見が食い違つて大激論!なんて事もありましたなあ。昨年8月に無事冊子を出版する事ができた時は、みな感動しまくりで、打ち上げも盛り上がりつつありましたよ!

何かの目標に向かって進む中で、男女の違いなんて全く関係ないぞと私は思いますね。性別を含めたいろんな個性が集まって、それが1つの輪になった時、ワクワクするような素敵なモノが見えてくるんじゃないかなあ。

男性の中にも、そして女性の中にもいろんな人がいますよね。「性別」についての考え方そのものを、「それぞれの個性」ってな感じでシンプルに、そして前向きに理解しあえた時、みんな楽しく、生きがいを感じながら生活ができそうですね!

性別によって
チャンスやヤル気を
失うような事が
あってはいけません。
そんな時は、
ギター侍さんに
斬ってもらいましょう!



セピア色の写真から

「時代を超えて志を繋ぐ」

堀田 くに

(一八九〇～一九八五)

堀田 光子

(一九一五～)



晩年のくにさん



光子さん (2004年11月撮影)

形は違っても堀田くにさんから堀田光子さんへ受け継がれた保育への「おもい」。「志を繋ぐ」とはどついでのことか。八九歳の今も健在な堀田光子さんは、さらりとその厳しさを話された。

高岡市伏木出身で、芥川賞を受賞(一九五一年)している作家・堀田善衛。未完の「鶴のいた庭」から、彼が過した頃の伏木の様子、そして回船問屋だった堀田家が時代の波に飲み込まれ、困難に直面している時の家人の様子を伺い知ることがができる。



開設後、数年で託児数は百人を超えた

その描かれた頃と同じ一九三三年(大正一二)の、彼の母であり、県内保育事業の先駆者として知られる堀田くにさんが、富山県で初めての託児所「伏木託児所」(現社会福祉法人伏木保育園)を開設している。ご自身が大変な時期でもあったその時のことは、伝説のように語り継がれている。

堀田くにさんの保育

堀田家(回船問屋)を没落の道へと誘った戦後(第一次世界大戦)恐慌の最中、皮肉にも伏木港は重工業地帯へと変貌し、活気を呈していた。「伏木に行けば何とか食べられる」と人づてに広まり、氷見・射水・砺波の乳飲み子を抱えた女性たちも仲仕(積み下ろし作業)としての働き口を求めて大勢集まった。母親たちが働い

ている間、子どもたちは倉庫の軒下や、時には雪の積もった石炭山の上に寝かされていたりしたという。

当時、伏木町婦人会長だったくにさんは、見るに見兼ねて子どもを預かり始めた。託児料は無料で、婦女会員がそれを支えた。資金捻出のためにバザーを開いたり、弁当を作って売ったり、映画を上映したり、国会に陳情に出掛け、座り込みしたりもした。その努力が認められるのは昭和に入ってからである(宮内省からの御下賜金、厚生省からの奨励金交付)。くにさんが初めて六千円の給料を手にしたのも、厚生省管轄下(一九四八年)になった後のことである。

堀田光子さんの保育

光子さんは、父親の「戦争未亡人の暮らし振りを見ると女性も仕事をもちて自立した方がいい」という考えにより、教師の資格をとり、女学校の教員から高校教師と、定年近くまで教員生活を送ってきた。

夫の母(くにさん)が園長を務める伏木保育園で保育に関わるようになったのは、光子さんが五九歳の時(後に園長となる)。初めてみる子どもたちの集団は光子さんにとっては驚異で、保母に率いられれば何でもできる子どもたちに感心しながらも、

何かすつきりしない疑問を持ちつづける日々が続いた。

やがて、様々な人々との出会いや学びの中から、子どもの立場に立つてそのすぐれた芽生えの成長を援助するという、光子さんの保育の基本が出来上がった。

「ひとりひとりを見る」「子どもたちには大人の温かい見守りと導きを受ける権利がある」と言う光子園長は、保母への専門職としての要求も高かった。その実践の記録「子どもの成長とその援助」保育の現場から(一九九〇年 伏木保育園発刊)には、光子さんの保育への「おもい」が詰まっている。それは地元よりも中央の専門家の間で高い評価を得た。

志を繋ぐ

地域女性のリーダーでもあったくにさんの「規律を重んじ、奉仕の精神で命を守る」ことに必死の保育から、光子さんの「ひとを育てる」という視点での専門職としての保育。

形は変わっても、子どもたちをしっかりと見つめる保育への「おもい」はしっかりと受け継がれている。

私たちの住む高岡での、そんな保育の実践を誇りに思うと同時に、「志を繋ぐ」とは、先人と同じことを繰り返すだけでなく、時には新たに作りかえていくという厳しく困難な作業を伴うものだということを学んだ。

光子さん、保育のことを話す時の「あなたの眼差し」を忘れません。

【訂正】ありて16号で、ご協力いただいた方のお名前間違いました。お詫びして訂正いたします。
尾山比佐さん→尾山比留さん

へらすま

高岡市男女平等推進センター

相談室から

こんな悩みを…

- 自分自身の生き方を見直したい…
- 家庭のこと、夫のことで相談したい…
- 子育てに疲れた…
- 心のこと、からだのこと、誰に聞いていいかわからない…
- 職場での人間関係がうまくいかない…
- いろいろな問題があって… 聞いてほしい。

こんな相談が…



相談件数の割合	
■ 本人の問題…57%	DV、セクハラ、生き方
■ 家族の問題…42%	夫婦の問題、子どもの問題
■ 社会の問題…1%	福祉、環境

相談室では…

相談室では家庭や職場のトラブル、夫婦関係の悩み、生き方などの相談を受けています。家庭や地域、経済状況など社会環境が大きく変化の中で、相談の内容もさまざまですが、自分を大切に生きようとする人たちが多くいることがわかります。

もっと安心して暮らしてほしい、自分に合った生き方を見つけてほしいという思いで、悩みを受けとめ、整理のお手伝いをし、解決のための一歩を踏み出すための応援をしています。気軽にご相談ください。

特別相談もあります

■女性の弁護士による法律相談(要予約)

毎月1回 原則第4金曜日 14:00から4名

受付時間

《電話》	月火水金土	9:30~16:30	}	要予約
	木	14:00~20:00		
《面接》	火水金	9:30~16:30	}	要予約
	木	14:00~20:00		
	毎月 第4土	9:30~16:30		

一人で悩まないで、まずご相談ください

TEL 0766-20-1811

相談は無料です!



NEWS

平成17年4月から新しい企画がスタートします!

- 毎月第1木曜日(15:00~18:30)
- 男女平等推進センター 交流スペースA

話スペース「ぽこ*あ*ぽこ」

(少しずつ…ってことです)

誰かに聞いてほしいことがある人 最近元気がない人
少しだけ悩んでいる人 自分で乗り越えたことがある人
気軽に立ち寄って、ほっと一息しませんか?
どなたでも参加できます。

無料

編集後記

澁谷 幸司

逆風に 抗ふ如く 突き進む 新たな道を 信ずる儘に

新保 智子

人には幾つもの岐路があります。その時に考える未来は、まさに自分の人生ですよね。

瀬川 幸恵

「結婚」今となれば通過点、そしてまた「自分らしさ」を探し始める。何度でも始められるのでは…。

向 富士子

ガラス越しの冬の陽射しがやさしい堀田家の座敷でゆっくりお話しできた時間は、私の中にしっかり刻まれました。

発行/高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
電話/0766-20-1810 FAX/0766-20-1815
E-mail/gec@office.city.takaoka.toyama.jp
ホームページ/http://www2.city-takaoka.jp/gec

- 「ありて」は上記のHPでもご覧いただけます。
- この情報誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

高岡市男女平等推進センターのホームページを紹介します。



センターのイベントや講座開催の案内や登録団体の活動紹介、会議室の空き室状況など、情報満載です。是非、ご利用ください。



<http://www2.city-takaoka.jp/gec>

表紙イラスト:辻 弥生子さん

高岡市内で銅版画とフランス語教室を主宰し、現在は彫金・銅版画を中心に活動

ありてキャラクターデザイン:山崎 可菜さん

高岡市出身。金沢市在住の大学生